

かわ

2019.4.1

Vol.241 Contents



わかまちのかわ◎第40回 須恵町 P1～P2
福岡県大規模氾濫減災協議会 …… P3～P4
河川愛護団体活動報告会 …… P5～P6
災害復旧実務講習会(第2回)報告 P7～P8
ふくおかの身近な川とさかなを知ろう!! P9～P10
No.46 有明海沿岸域のクリーク網は日本の宝 Part 2
川のある風景/協会からのお知らせ



わがまちの かわ

第40回

須恵町



福岡県



須恵町



須恵川の仲島水辺公園

■ 須恵町の概要

須恵町は、福岡県の中央部よりやや北西寄り、福岡市の東約10kmに位置しています。北は篠栗町、東は飯塚市、南は宇美町、西は志免町および粕屋町に接しています。町域は、東西7.1km、南北4.0km、総面積16.31平方キロメートルを有しており、東部及び北部は山地で太宰府県立自然公園指定地区に指定されている若杉山、岳城山がみられるなど自然に恵まれた環境にあります。若杉山は須恵町と篠栗町にまたがり、海拔678mの山勢はほとんど垂直に近く、樹齢数百年と言われる老杉が高く茂り、蒼々たる森林美を形成しています。町名は古墳時代の須恵器に由来する説と、伝教大師が大木の末木で彫った大日如来をこの地に安置したことに由来する説があります。産業は、農業とともに須恵焼や須恵目薬の製造販売が行われ、明治初期から昭和30年代まで石炭産業で栄えました。炭鉱閉山後は、急激な人口減に見舞われましたが、工業団地や住宅団地の整備等より人口は回復、現在も福岡市のベッドタウンとして緩やかに増加を続けています。(平成30年12月末28,544人)

町の中央部には、最大幅員は16.7m、町内延長は6,514mの2級河川「須恵川」が貫流しています。源流は宇美町ツムリ谷で、粕屋町を經由して福岡市東区原田で宇美川と合流します。川の上流には、上水道水源としてアーチ式ダム「須恵ダム」、町民の憩いの場所として川の流れを利用した幅20メートル、長さ120メートル、水深約40センチの流水プール「仲島水辺公園」があります。須恵町は平安時代より稲作を中心として集落が形成された歴史があり、永年、須恵川の恩恵を受けてきたことは言うまでもありません。



須恵ダム

皿山公園

3万本の
つつじの名所!



若杉山の山ろくに広がる町立皿山公園は、春には3万本のつつじが咲きみだれるつつじの名所。梅の花、しょうぶ、あじさいも楽しめ、花の香りいっぱいです。眼下には、福岡市、博多湾を望む一大パノラマが広がります。カンラン岩の巨石群がゴロゴロと積み重なった、天然のロックガーデンも見ものです。

須恵町立
美術センター

久我記念館

館内には須恵焼
などが展示!



八女の画家・坂本繁二郎を発掘した人物として知られる久我五千男氏から町が引き継いだもので、建物は16世紀に肥前有馬に造られたイエズス会の教育機関セミナリヨのイメージを取り入れています。館内には須恵焼や各地の焼物、作家の絵画などを展示しています。



上須恵祇園山笠

約250年先の
伝統行事!



約250年前に始まったと伝えられ、当時、須恵に疫病が流行したため、退散を祈願して祇園祭を催行し、以降疫病が収まったので毎年行うようになったと言われています。また、一説には、福岡藩の御典医で須恵出身の田原養全の提唱により始まったとも言われています。

須恵町立 歴史民俗資料館

九州初の
資料館です!



全国でもまだ資料館が珍しい昭和48年に町立としては九州で初めて開館したという歴史ある資料館です。移り変わる生活の中で忘れられていく生活用品や農器具、町の歴史を物語る古墳の出土品や須恵目薬の道具、炭鉱の道具などを展示しています。

須恵焼

幻の
筑前磁器です!



江戸時代、肥前陶磁の影響の下で始まり、明治35年頃まで約140年間焼かれた磁器です。江戸時代には福岡藩の藩窯(磁器御用窯)となり、幕末期には、藩の殖産興業に取り上げられ全国各地に流通しました。残存している須恵焼は数が少なく幻の筑前磁器といわれており、町立美術センター久我記念館に保存展示されています。

須恵町特産

養生みそ

なんと! 売れば
売れるほど赤字!



「須恵町健康づくり事業」として昭和61年より町内にて養生みその製造を開始しました。合わせ・米・麦の3種類があり国産の大豆、米、麦を原材料とした無添加みそ。原材料にこだわり、すべて国産の原料を使用。売れば売れるほど赤字です。

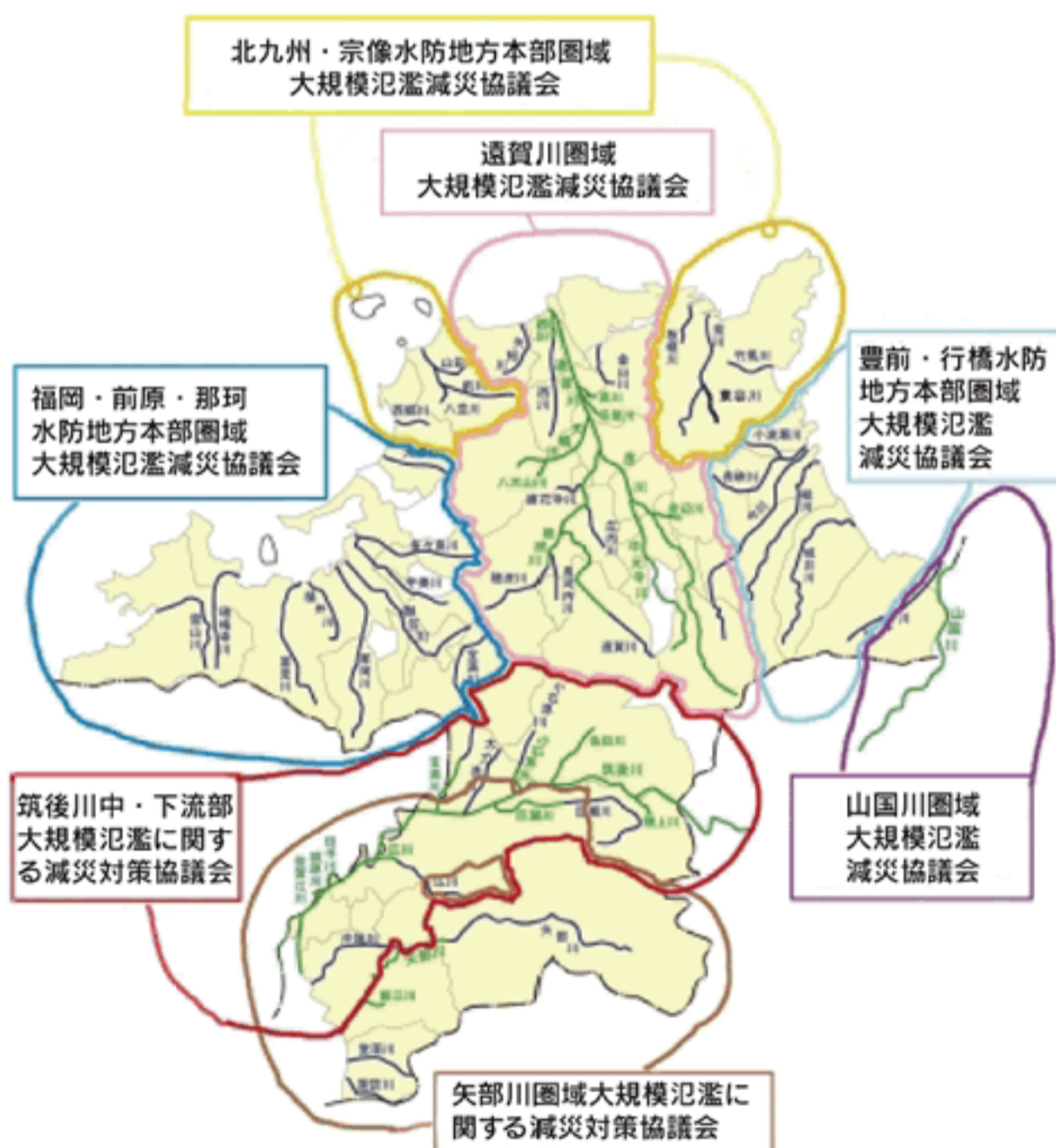
県管理河川に係る 「大規模氾濫減災協議会」が開催されました。

1 大規模氾濫減災協議会について

近年、各地で洪水等の水災害が頻発・激甚化しています。

このため、福岡県においては、河川管理者、気象台、市町村などの関係機関が連携・協力して、減災のための目標を共有し、ハード対策とソフト対策を一体的、計画的に推進するための「大規模氾濫減災協議会」が設置されています。

福岡県 大規模氾濫減災協議会 圏域図



2 開催概要

県管理河川については、3つの圏域において協議会が設置されており、それぞれ第3回目の会議が開催されました。

概ね5年間に達成すべき目標や、具体的な取組内容を定めた「地域の取組方針」の取組状況等について確認、共有が行われました。

①「北九州・宗像水防地方本部圏域」

大規模氾濫減災協議会

日時 平成31年2月4日(月)
10:00～

場所 福岡県八幡総合庁舎



②「豊前・行橋水防地方本部圏域」

大規模氾濫減災協議会

日時 平成31年2月5日(火)
14:00～

場所 福岡県行橋総合庁舎



③「福岡・前原・那珂水防地方本部圏域」

大規模氾濫減災協議会

日時 平成31年2月8日(金)
10:00～

場所 福岡県粕屋総合庁舎



3 議事内容等

- ①河川管理者から市町村長等へ直接電話により河川の水位情報を伝達する「ホットライン」に加え、**防災担当部局の役職者にも「ホットラインメール」を配信**する運用の見直し等が承認されました。
- ②ファックスによるダム放流情報伝達に加え、**「ダム放流に関するホットライン」**を実施することについて、承認されました。
- ③関係市町村から、取組事例について説明がありました。その他、福岡管区气象台から「洪水警報の危険度分布の活用」について説明があり、県からは、「自助行動啓発パンフレット」について説明がありました。

なお、詳細については、福岡県庁のホームページに掲載されております。

私達の住む地域の川をもっと元気に!!

河川愛護団体・河川愛護企業を募集しています!!

【河川愛護活動とは?】

活動区間を決めて支援制度に登録していただき、福岡県から支援を受けながら、除草・清掃などの活動を行うものです。

河川愛護団体・河川愛護企業 (アダプト・アシスト)HP

<http://www.pref.fukuoka.lg.jp/contents/kasenaigo.html>

登録要件等についてはお近くの県土整備事務所(支所) 用地課管理係へお問い合わせください。*支所については庶務課へお問い合わせください。(県土整備事務所一覧については、次ページにURL及びQRコードを記載しています。)

支援内容

河川愛護団体

- ①報償費の支給(1団体につき年間5万円)
- ②需用品の支給(1団体につき年間2万円)
- ③傷害、賠償責任保険の加入
(ただし、保険の対象外となる場合がございます。)
- ④アダプトサインの設置(活動区間が500m以上の団体に限る)
- ⑤自走式草刈り機の貸出し



河川愛護活動中の様子



活動後、参加者全員で記念撮影!!

河川愛護企業(アダプト企業)

- ①需用品の支給
(予算の範囲内で、軍手や鎌等、活動に必要なものを支給します。)
- ②傷害・賠償責任保険の加入
(ただし、保険の対象外となる場合がございます。)
- ③アダプトサインの設置
(活動区間が500m以上の企業に限る)
- ④自走式草刈り機の貸出し

河川愛護支援企業(アシスト企業)

- ①傷害・賠償責任保険の加入

※アダプト企業・アシスト企業は競争入札参加資格における地域貢献活動評価の対象になります。

平成30年度第14回ふくおか川の大掃除活動報告会を実施しました!!

○開催日時：平成31年2月7日(木)
14時~16時30分

○場所：福岡県 粕屋総合庁舎 3階 大会議室
(福岡県福岡市東区箱崎1丁目18-1)

福岡県では毎年10月を「クリーンリバー推進期間」と定め、河川の一斉清掃を呼び掛けており、期間中に活動された河川愛護団体・河川愛護企業の活動報告の場及び団体・企業の交流を図る場として、「第14回ふくおか川の大掃除活動報告会」を実施しました。

当日は、県内各地から参加いただいた皆様による愛護活動時における課題について、積極的な交流が行われました。



県内の県管理河川で活動される河川愛護団体「馬場角田川を守る会」様による活動報告



後半は、ワークショップを実施し、日ごろの活動における課題について議論しました!

注意!

河川愛護活動中の事故にご注意を!!

河川愛護活動につきましては、日頃からご協力を賜り厚くお礼申し上げます。
福岡県では、河川愛護活動中の万が一の事故に対する傷害・賠償責任保険に加入していますが、痛ましい事故が後を絶ちません。
直近の事故事例をまとめましたので、活動時にはご周知いただき、事故防止に役立てていただければ幸いです。

切り傷



一番多い事故です!

虫刺され・咬傷



草むらには毒を持つ蜂や蛇などが生息しています!

熱中症



近年急増! 無理はしないで水分補給
(※熱中症は愛護保険の対象外です。)

転落・転倒



川での転落死亡事故が発生しています!
周囲・足元の安全確認!

※事故発生時の対処法

- ・事故が起こったら、慌てず救護を!
- ・その後、速やかに管内の県土整備事務所へ連絡してください。

(県土整備事務所一覧URL)

http://www.pref.fukuoka.lg.jp/desaki/kakubu_syubetsu_9100017.html



※4つのポイント!

- じ** 十分な休養をとって活動しましょう
- こ** こまめな水分補給を心がけましょう
- な** なるべく活動前に危険な箇所を確認しましょう
- い** いまの自分にできる範囲で無理のない活動をしましょう

平成30年度

第2回

福岡県災害復旧実務講習会の報告

日時 平成30年12月21日(金) 10:00～16:10

場所 (公財)福岡県建設技術情報センター3階 大研修室



平成30年度福岡県災害復旧実務講習会(第2回)(主催:福岡県河川協会)を開催し、県土整備事務所及び県内市町村から約120名の参加をいただきました。

本講習会は、適正かつ迅速な災害復旧事業を実施するため、災害復旧の実務を行う担当者に向けて、年2回開催しています。

今回の講習会では、平成30年の災害査定における指摘事項や反省点を踏まえた、災害復旧の留意事項などについて説明を行いました。

また、福岡県那珂県土整備事務所と嘉麻市役所から平成30年災害査定で申請者として実務にあられた方を講師にむかえ、災害査定の実験談として申請までの経緯をご紹介いただきました。

最後に、国土交通省水管理・国土保全局防災課の齋藤査定官から、発災から事業採択に至るまでの留意事項、査定設計書を作成する上でのポイントや平成30年度に改定された「美しい山河を守る災害復旧基本方針」(ガイドライン)などについて事例を用いて説明していただきました。

受講者からは、講習会全体を通して、災害復旧に関する理解が深まったとの感想をいただいております。

災害は突発的なものであり、いつどこで発生してもおかしくありません。そのため、日頃から災害に対して準備をしておくことが重要です。次回の講習会も参加者がスキルアップできるように企画してまいりますので、今後多くの方のご参加をお待ちしております。



講演の様子



福岡県那珂県土整備事務所 河川砂防課
河川係長 上野 様



嘉麻市役所 土木課土木係
藤本 様



国土交通省 水管理・国土保全局 防災課
災害査定官 齋藤 様



平成
30年度

福岡県災害復旧実務講習会(第2回)プログラム

- 1 開会挨拶
- 2 平成30年災害査定の総括
- 3 災害復旧事業の国庫負担金交付申請手続きと精算・成功認定について
- 4 災害復旧事業の繰越手続きについて
- 5 災害復旧事業に関する留意事項
- 6 災害復旧事業の設計変更と合併・合冊について
- 7 都市災害復旧事業について
- 8 「災害査定のとびき」改訂について
- 9 河川災害復旧の留意点について
- 10 道路災害復旧の留意点について
- 11 砂防災害復旧の留意点について
- 12 平成30年災害査定事例①～河川災～
- 13 平成30年災害査定事例②～道路災～
- 14 災害復旧の留意事項
「平成30年 災害手帳」変更点
「美しい山河を守る災害復旧基本方針」
の改定について
- 15 質疑応答

ふくおかの身近な川と さかなを知ろう!! No.46

おに くら
鬼 倉
のり お
徳 雄



水田

大豆畑

クリーク

【有明海沿岸域のクリーク網は日本の宝 Part 2】

ふ くおかの身近な川とさかなを知ろう！
No.43 では、クリーク網の歴史的・文化的価値についてご紹介しましたが、今回はその続編で、私の専門である“お魚”についての話です。WWF ジャパンとの共同研究で、ここ2年ほど、有明海沿岸域の水田・畑作地帯を流れる農業用水路（約150地点）で行ってきた魚類相調査もほぼ終了しました。現在、それを取りまとめている最中です。この150地点は、九大の私の研究室でかつて行った調査結果（約650地点）から、魚類の多様性が極めて高い場所やとても珍しい魚の生息が確認された場所などを選びすぐったものです。まずは、有明海沿岸域のクリーク網が“日本の宝”であることを、希少な魚たちの生息状況から、皆様にご理解いただきたい！

ま ずは、この円グラフをご覧ください。これは、今回の調査で採集された希少な魚の種数と採集されなかった希少な魚の種数を示しています。希少な魚の条件は、環境省のレッドデータブックで絶滅危惧種および準絶滅危惧種に指定されているもので、有明海に流入する水系に生息する淡



水魚に限定しています。全23種がその条件に合致し、そのうち、20種を今回のクリーク調査で採集できました。もちろん、1か所のクリークでそれを採集できたわけではありません。希少な魚の種数が1番多い場所でも10種程度でしたが、150地点で調査を行った結果、この地域に生息する大半の希少な魚と出会うことができました。出会うことができなかつたのは、ヤマメ、アカザ、カジカのみ。これら3種は河川の上流、中流に生息する魚ですので、平野部にはそもそも生息していません。それ以外のすべての希少な魚を見ることができました。こんな“希少な魚たちの宝庫”を抱える地域は、私のこれまでの調査で、見たことがありません。これこそが、私が有明海沿岸域のクリーク網を“日本の宝”だと考える大きな理由なのです。

今 回の調査では、汽水（淡水と海水の混ざり合った塩濃度の場所）を主な生息場としている希少な魚も採集することができました。クリーク網自体は農業用水として利用されているわけですので、ほとんどは淡水なのですが、汽水の影響を和らげるための潮遊用の水路や川の汽水域と樋門1枚でつながっている排水路なども存在しており、そういった場所にはボラなどの汽水魚が迷入してきます。今回の調査では、エツ、ハゼクチ、

有明スズキが採集されました。これらは、日本では有明海でしか見ることができない特産種であり、希少性が極めて高い魚たちです。そういった希少な汽水の魚たちにも時々出会うことができるのも、クリーク網の大きな魅力です。



有明海のスズキ



エツ



ハゼクチ

さて、先ほど、20種の希少な淡水魚との出会いについて語りましたが、まだ、1種も紹介しておりませんし、“希少な魚たちの宝庫”が成り立つ要因についてもまだ話しておりません。ということで、まずは2種の希少魚を紹介したいと思います。カワバタモロコとアブラボテです。前者は、産卵期にはオスだけ金色の婚姻色を呈する美しい魚で、絶滅危惧IB類に指定されています。主な生息場所は止水的な水路です。本州地方にも生息しており、そこでの生息場所は専らため池です。流れていない場所がその生息に必要な魚であることが分かります。そして、後者はオスの婚姻色がオリーブ色になるタナゴの仲間、準絶滅危惧種に指定されています。そして、その生息場所は流れのある農業用水路です。標高が高い地域、熊本県山都町の通潤用水でもその生息を確認できます(No.5参照)。通潤用水は山間地の棚田に農業用水を送る水路ですので、低平地の水路よりはるかに流速が速いことを想像できます。この魚の生息には、ある程度の流速が必要であることを理解できるかと思います。この止水と流水の相反する生息環境を好む2種が、同じ場所で採集されることがあります。そういった場所の特徴は、河川から取水した水を農地全体に送水する流速を伴う水路(流れ堀)と、そこから得た水を貯え、田んぼに使った後の排水を再利用する循環型の貯水路(枝堀)の、性格の異なる2タイプの水路が存在しています。No.43で“水路の複雑さが日本一”と紹介しましたが、その複雑な水路には性格が異なる様々なものがあり、その結果として、様々な生息場を好むいろいろな種類の魚たちが、そこで

同所的に暮らしていけるのです。“水路の複雑さ”→“多様な環境”→“希少魚の宝庫”という関係性で、ご理解いただければ幸いです。

もちろん、人間が暮らしていく上で“水路の複雑さ”が必要となり、それを作り出したのは、この地で農業を営んできた先人たち。そして、農の営みという観点で、この地の現在の農業を知りたくありませんか?該当する県は、佐賀、福岡、熊本です。数年前の農作物の県別生産量を調べてみると、レンコンで佐賀が3位、熊本が6位、大豆で佐賀が2位、福岡が4位、小麦で福岡が2位、佐賀が3位です。この地域の農業生産は今も盛んで、複雑な水路網は現役で働いていることを、この生産量の高さからも理解できます。だからこそ、今なお、国内随一の“希少魚の宝庫”が維持されていると言えるでしょう。そのことに感謝しながら、我々は毎日の食事をとらなければいけません。九州の農作物を消費すること。それも日本随一の魚類の多様性の保全に大いに貢献する手立てのひとつであると、私は考えています。



カワバタモロコ



アブラボテ

おにくら のりお
鬼倉 徳雄 — NORIO ONIKURA —

- 九州大学大学院農学研究院・准教授
- 日本水環境学会九州支部・評議委員
- 日本魚類学会自然保護委員・学会賞選考委員
- 応用生態工学会評議委員・編集委員

主な著書／

- 生きざまの魚類学 魚の一生を科学する(猿渡敏郎編著)
- 見えない脅威 “国内外来魚”(日本魚類学会自然保護委員会編)

川のある風景:今川



■撮影時期:2019年3月 ■撮影地:行橋市西宮市 ■撮影者:Kitagawa, E

平成31年度 災害復旧事業に係る研修及び講習会予定一覧

日程/会場	研修・講習会名	主催
2019年5月8日(水) (公財)福岡県建設技術情報センター	(第1回) 福岡県災害復旧実務講習会	福岡県河川協会
2019年5月13日(月)~14日(火) 砂防会館別館(シェンバッハ・サポー)	平成31年度 災害復旧実務講習会	(公社)全国防災協会
2019年5月21日(火)~22日(水) (公財)福岡県建設技術情報センター	災害復旧実務研修	(公財) 福岡県建設技術情報センター
2019年5月中旬以降 北九州・筑豊・福岡・筑後北部・筑後南部の各庁舎で開催予定	災害復旧実務ブロック講習会	県土整備部河川管理課 道路維持課
福岡県の災害査定期間中(6月頃) 災害査定現場ほか	災害査定現場研修	県土整備部河川管理課
2019年12月頃 (公財)福岡県建設技術情報センター	(第2回) 福岡県災害復旧実務講習会	福岡県河川協会

※いずれの研修も県内市町村及び出先事務所の災害復旧事業担当者を対象としています。

編集
後記

今回は、ゆっくりとした流れを感じるような風景を取り上げました。また、有明海沿岸域では、先人からの時の積み重ねが、現在のよう身近な希少魚の宝庫に繋がっているそうです。(古賀)

◆ STAFF

発行・編集 福岡県河川協会(福岡県県土整備部河川管理課内)
〒812-8577 福岡市博多区東公園7-7
TEL:092-633-2826(直通)
FAX:092-643-3669
企画 正光印刷株式会社

福岡県河川協会ホームページ

<http://www.fukuoka-pref-kasen.jp/kasenkyokai/>

